



【令和8年度重点目標】

自ら学びを創り出す子どもの育成 ～チャレンジ！自分でみつけて、自分でつくる～

前回の学校だよりを出した直後の朝、「校長先生、ジャンボタニシの卵捕ったよ～」と声をかけてくれた子がいました。前号のタニシの話をご家庭で話題にしてくださったのかな?と嬉しく思いました。

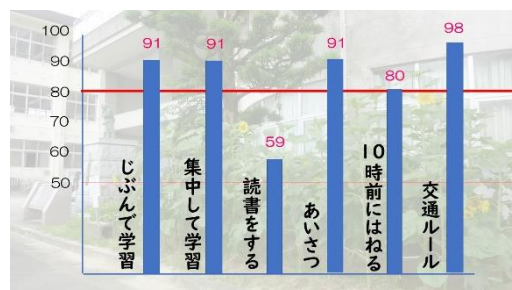
さて、子どもたちは、元気に過ごしているでしょうか。熊本では大きな地震が起こり、たくさんの方が被害に遭われています。心からお見舞いを申し上げますと共に、災害への備えをもう一度見直さなければと思うところです。また、大変暑い日が続いています。引き続き、ご家庭での健康管理をよろしくお願いいたします。

●終業式で ～ 1学期の成長を振り返りました ～

7月17日の終業式では、私の話の中で、1学期に光った子どもたちの素敵な気持ちや心について振り返りました。入学式や歓迎集会、歓迎遠足、プール掃除などでは、「自分ではない誰か」を心の真ん中に置き、そのだれかのために行動する気持ちの素晴らしさ、心の尊さを伝えました。孝子祭では、こんな人になりたい、こんな行動ができるようになりたいという「人としてのよりよい在り方」を望む気持ちが膨らんだことを価値づけました。運動会では、「あきらめずに、元気いっぱい楽しもう」のスローガンのもと、あきらめずに競い合ったこと、演技をつくりあげたこと、そして、みんなと一緒に運動を楽しんだことのよさを話しました。5年生の田植えでは、はじめは土の感触を「気持ち悪い～」と嘆いていた子ども達が、最後の方は泥まみれになってその感触を楽しんでいた様子から、新しい気づきや感覚に出会えたことなどを伝えました。子ども達の生き生きとした様子側借る写真を見ながら、みんなで中牟田っ子の素敵な姿を共有し、喜び合いました。

話の後半では、1学期のアンケート結果について夏休みの生活につなげた6つの項目を振り返りました。右がそのグラフです。肯定的な評価の割合が80%以上を合格点とすると、「進んで読書をする」という項目で課題が大きいことが分かります。子ども達には、まずは夏休みに読書に取り組んでみることを勧めています。自由に使える時間がたくさんある夏休みです。ぜひお子様が本に親しめるようにお力添えをお願いいたします。

生活習慣、学習に向かう姿勢は高い数値ですが、「10時前には寝る」という項目については他と比べると低めです。長期休み中は生活リズムが乱れがちです。現在のところいかがでしょうか?最後に、大切な命を守るために、右の3つのことを強調して伝えています。水の事故が全国で起こっています。交通ルールを守っているという子どもは98%と大変多いですが、100%にはなっていません。車は急に止まれません。道路は危険な場所と認識して、常に慎重に行動してほしいと思います。また、困ったことがあったら、一人で悩まないで誰かに相談することも忘れないでほしいと思います。2学期の始業式に、必ずみんな元気に登校できるよう、日々のお声かけ、どうぞよろしくお願いいたします。



おぼえておこう

- ① 川や池はおぼれます
- ② 道路は危険な場所です
- ③ 困った時はすぐ相談

●性暴力対策アドバイザー学習会 ～境界線の話＝人の尊厳を守ること～

絶対にあってはならない性暴力。7月2日、性暴力対策アドバイザーによる学習会を行いました。5・6年生を対象にクラスずつ各教室で行いました。人は、それぞれが自分の大事な領域をもっています。そこには、身体的にも、精神的にも侵されてはならない、目に見えない境界線(透明バリア)が存在する。その境界線が破られそうになったら・・・そんな学習です。この学習は、人間一人一人の尊厳は大切にされなくてはならないのだという根幹の部分を確認するような学習だと感じます。性暴力はもとより、凶悪な事件も、いじめも、けんかも、日々生じる些細な感情のすれ違いも・・・結局は、自分本位になって他人の領域に遠慮なく踏み込んでしまうことが原因で起こるという意味では、共通する部分が大きいといえるかもしれません。大事な境界線、破られそうになっても「いやだ」ということを伝えられないことは意外と多いものです。自分の大事な境界線が破られそうになったら、「いやだ」という気持ちを伝えること、直接相手に伝えられない時、困った時はだれかに相談することも大切・・・みんなで自分の、そして相手の境界線を大切にしていこうということを学ぶ貴重な学習でした。

●親子で学ぶ規範教育 ～ネット社会を生きていくために～

7月10日、3・4年生、5・6年生を対象にネット・スマホに関する学習会を行いました。KDDIの方にお越しいただき、身近に潜む危険について分かりやすく教えていただきました。ネットやスマホ、そしてAI・・・これらはもはやなくてはならない便利なツールになっています。ゲームも一昔前とは違って、オンライン上で人とつながりながら楽しむことが当たり前のようになっているようです。子どもたちは、これらを本当に正しく、安全に使用しているでしょうか?機能を使いこなすことは、間違いなく大人以上のスピードでスキルを身に付けていくでしょう。しかし、危険を察知し、正しく対応するには圧倒的に経験が足りません。技術はどんどん進化しています。学校でも家庭でも、子どもの大人も学び続けていかなければと強く思わせる学習でした。

